

有効成分キノフメリンを含有する申請農薬の使用方法及び
薬効・薬害試験結果概要

1. アイーナ20フロアブル（キノフメリン20%水和剤）

(1) 使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	キノフメリンを含 む農薬の総 使用回数
稲	いもち病 稲こうじ病 穂枯れ(ごま葉 枯病菌)	4000 倍	60~150 L/10 a	収穫 7 日 前まで	3 回 以内	散布	3 回 以内
あずき	炭疽病	2000 倍	100~300 L/10 a	収穫前日 まで	2 回 以内		2 回 以内
いんげんまめ	灰色かび病				3 回 以内		3 回 以内
えんどうまめ	菌核病						
キャベツ	灰色かび病 菌核病						
はなやさい類	菌核病						
きゅうり	灰色かび病 菌核病						
すいか メロン	炭疽病 つる枯病						
ピーマン	うどんこ病 灰色かび病						
なす	うどんこ病						
トマト ミニトマト	灰色かび病 菌核病						
いちご	うどんこ病 灰色かび病 炭疽病						
アスパラガス	茎枯病 斑点病		100~500 L/10 a				
鱗茎類(根物、ただし、 葉たまねぎ、葉にんに く、のびるを除く)	灰色かび病 灰色腐敗病		100~300 L/10 a				
レタス	灰色かび病 菌核病						
レタス類(レタスを除く)							
かんきつ	黒点病 灰色かび病	2000~ 4000 倍	200~700 L/10 a	収穫前日 まで			
なし	黒星病 うどんこ病						
りんご	黒星病 うどんこ病 斑点落葉病						

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	キ/フ/リンを含 む農薬の総 使用回数
おうとう	灰星病	2000～ 4000 倍	200～700 L/10 a	収穫前日 まで	3 回 以内	散布	3 回 以内
もも類	黒星病 灰星病 ホモブシ腐敗病						
小粒核果類	黒星病						
	すす斑病(うめ) 灰星病(あん ず、すもも)	2000 倍					
	ぶどう						
マンゴー	灰色かび病 炭疽病						
かき	うどんこ病 炭疽病 灰色かび病 落葉病	2000～ 4000 倍					
茶	炭疽病 輪斑病 新梢枯死症	2000 倍	200～400 L/10 a	摘採 14 日前まで			

(2) 薬効

① 稲

薬効・薬害試験の結果、いもち病、稲こうじ病及び穂枯れ（ごま葉枯病菌）に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-1：アイーナ20フロアブルの薬効・薬害試験（稲、いもち病）結果概要

作物 名	実施 場所 実施 年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
稲	秋田 H22	いもち病	葉いもち：中 (接種) 穂いもち：中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較 して効果が認め られた。	薬害は認めら れなかった。
稲	宮城 H23	いもち病	葉いもち：中 (接種) 穂いもち：少	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
稲	山形 H23	いもち病	葉いもち：中 (接種) 穂いもち：中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
稲	千葉 H25	いもち病	葉いもち：多 (接種) 穂いもち：少	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
稲	長野 H25	いもち病	葉いもち：少 穂いもち：少	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較 して効果が認め られた。	薬害は認めら れなかった。

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
稲	山口 H26	いもち病	葉いもち：多 (接種) 穂いもち：中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	宮崎 H26	いもち病	葉いもち：中 穂いもち：少	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-2：アイーナ20フロアブルの薬効・薬害試験（稲、稲こうじ病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
稲	宮城 H25	稲こうじ病	中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	秋田 H27	稲こうじ病	中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
稲	石川 H27	稲こうじ病	少	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	秋田 H29	稲こうじ病	少	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	鹿児島 H29	稲こうじ病	中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
稲	秋田 R1	稲こうじ病	少	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
稲	宮城 R1	稲こうじ病	中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-3：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（稲、穂枯れ（ごま葉枯病菌））結果概要

作物名	実施場所	対象病害		試験条件			結果	
	実施年度	病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
稲	福島 H27	穂枯れ(ごま 葉枯病菌)	多	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	福島 H29	穂枯れ(ごま 葉枯病菌)	多	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	福島 H30	穂枯れ(ごま 葉枯病菌)	多	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	山口 H30	穂枯れ(ごま 葉枯病菌)	少 (接種)	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	新潟 R1	穂枯れ(ごま 葉枯病菌)	中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	福島 R1	穂枯れ(ごま 葉枯病菌)	多	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

② あずき

薬効・薬害試験の結果、炭疽病、灰色かび病及び菌核病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-4：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（あずき、炭疽病）結果概要

作物名	実施場所	対象病害		試験条件			結果	
	実施年度	病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
あずき	北海道 H26	炭疽病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
あずき	茨城 H29	炭疽病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-5：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（あずき、灰色かび病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
あずき	北海道 H25	灰色かび病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
あずき	北海道 H26	灰色かび病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-6：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（あずき、菌核病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
あずき	京都 H25	菌核病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
あずき	茨城 H26	菌核病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
あずき	京都 H26	菌核病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

③ いんげんまめ

薬効・薬害試験の結果、炭疽病、灰色かび病及び菌核病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-7：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（いんげんまめ、炭疽病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
いんげんまめ	北海道 H25	炭疽病	甚 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いんげんまめ	茨城 H25	炭疽病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いんげんまめ	北海道 H26	炭疽病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いんげんまめ	茨城 H26	炭疽病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
いんげんまめ	北海道 H27	炭疽病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いんげんまめ	茨城 H27	炭疽病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-8：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（いんげんまめ、灰色かび病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
いんげんまめ	鹿児島 H22	灰色かび病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いんげんまめ	高知 H23	灰色かび病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いんげんまめ	高知 H26	灰色かび病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いんげんまめ	宮崎 H26	灰色かび病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いんげんまめ	茨城 H26	灰色かび病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いんげんまめ	高知 H27	灰色かび病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-9：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（いんげんまめ、菌核病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
いんげんまめ	高知 H23	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いんげんまめ	鹿児島 H23	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いんげんまめ	茨城 H25	菌核病	甚	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
いんげんまめ	鹿児島 H25	菌核病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いんげんまめ	高知 H26	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いんげんまめ	宮崎 H26	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

④ えんどうまめ

薬効・薬害試験の結果、灰色かび病及び菌核病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-10：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（えんどうまめ、灰色かび病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
えんどうまめ	高知 H30	灰色 かび病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
えんどうまめ	宮崎 H30	灰色 かび病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-11：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（えんどうまめ、菌核病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
えんどうまめ	高知 H30	菌核病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
えんどうまめ	宮崎 H30	菌核病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

⑤ キャベツ

薬効・薬害試験の結果、灰色かび病及び菌核病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-12：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（キャベツ、灰色かび病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
キャベツ	宮崎 H30	灰色 かび病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
キャベツ	和歌山 R1	灰色 かび病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
キャベツ	高知 R1	灰色 かび病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
キャベツ	福岡 R1	灰色 かび病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
キャベツ	宮崎 R1	灰色 かび病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
キャベツ	高知 R3	灰色 かび病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
キャベツ	宮崎 R2	灰色 かび病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-13：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（キャベツ、菌核病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
キャベツ	岩手 H21	菌核病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
キャベツ	大分 H25	菌核病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
キャベツ	群馬 H26	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
キャベツ	神奈川 H26	菌核病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
キャベツ	兵庫 H27	菌核病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
キャベツ	兵庫 H28	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

⑥ はなやさい類

薬効・薬害試験の結果、菌核病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

はなやさい類の菌核病に対する効果については、はなやさい類に含まれるブロッコリーの試験で評価した。

表 1-14：アイーナ20フロアブルの薬効・薬害試験（ブロッコリー、菌核病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
ブロッコリー	京都 H30	菌核病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ブロッコリー	鳥取 H30	菌核病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ブロッコリー	京都 R1	菌核病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ブロッコリー	香川 R1	菌核病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ブロッコリー	鳥取 R2	菌核病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ブロッコリー	京都 R2	菌核病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ブロッコリー	香川 R2	菌核病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

⑦ きゅうり

薬効・薬害試験の結果、灰色かび病、菌核病、炭疽病及びつる枯れ病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-15：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（きゅうり、灰色かび病）結果概要

作物名	実施場所	対象病害		試験条件			結果	
	実施年度	病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
きゅうり	岐阜 H23	灰色 かび病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
きゅうり	高知 H23	灰色 かび病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	茨城 H26	灰色 かび病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	高知 H25	灰色 かび病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	茨城 H27	灰色 かび病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	高知 H27	灰色 かび病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-16：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（きゅうり、菌核病）結果概要

作物名	実施場所	対象病害		試験条件			結果	
	実施年度	病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
きゅうり	茨城 H23	菌核病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	高知 H23	菌核病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	高知 H25	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	茨城 H26	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
きゅうり	宮崎 H26	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	大阪 H27	菌核病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-17：アイーナ20フロアブルの薬効・薬害試験（きゅうり、炭疽病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
きゅうり	福島 H26	炭疽病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	徳島 H26	炭疽病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	岩手 H27	炭疽病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	福島 H27	炭疽病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	徳島 H27	炭疽病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	高知 H27	炭疽病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-18：アイーナ20フロアブルの薬効・薬害試験（きゅうり、つる枯病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
きゅうり	茨城 H30	つる枯病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	徳島 H30	つる枯病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	宮崎 H30	つる枯病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

作物名	実施場所	対象病害		試験条件			結果	
	実施年度	病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
きゅうり	茨城 R1	つる枯病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	徳島 R1	つる枯病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
きゅうり	宮崎 R1	つる枯病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

⑧ すいか

薬効・薬害試験の結果、菌核病、炭疽病及びつる枯病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-19：アイーナ20フロアブルの薬効・薬害試験（すいか、菌核病）結果概要

作物名	実施場所	対象病害		試験条件			結果	
	実施年度	病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
すいか	高知 H26	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	鳥取 H28	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	高知 H27	菌核病	甚 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	宮崎 H27	菌核病	甚 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	高知 H29	菌核病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	宮崎 H29	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。

表 1-20：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（すいか、炭疽病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
すいか	高知 H26	炭疽病	甚	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
すいか	鳥取 H27	炭疽病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	高知 H27	炭疽病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
すいか	宮崎 H28	炭疽病	甚	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	宮崎 H29	炭疽病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	鳥取 R1	炭疽病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-21：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（すいか、つる枯病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
すいか	宮崎 H29	つる枯病	甚	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	山形 H30	つる枯病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	茨城 H30	つる枯病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	高知 H30	つる枯病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	宮崎 H30	つる枯病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
すいか	山形 R1	つる枯病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
すいか	宮崎 R1	つる枯病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。

⑨ メロン

薬効・薬害試験の結果、菌核病、炭疽病及びつる枯病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-22：アイーナ 20 フロアブルの薬効・薬害試験（メロン、菌核病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
メロン	高知 H26	菌核病	甚 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
メロン	宮崎 H26	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
メロン	宮崎 H27	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
メロン	宮崎 H28	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
メロン	高知 H29	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
メロン	宮崎 H29	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-23：アイーナ 20 フロアブルの薬効・薬害試験（メロン、炭疽病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
メロン	茨城 H27	炭疽病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
メロン	茨城 H28	炭疽病	甚	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
メロン	茨城 H29	炭疽病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
メロン	茨城 H30	炭疽病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
メロン	高知 H30	炭疽病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
メロン	茨城 R2	炭疽病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
メロン	高知 R2	炭疽病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-24：アイーナ20フロアブルの薬効・薬害試験（メロン、つる枯病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
メロン	茨城 H30	つる枯病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
メロン	高知 H30	つる枯病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
メロン	宮崎 H30	つる枯病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
メロン	高知 R1	つる枯病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
メロン	宮崎 R1	つる枯病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
メロン	静岡 R2	つる枯病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
メロン	高知 R2	つる枯病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

⑩ ピーマン

薬効・薬害試験の結果、うどんこ病及び灰色かび病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-25：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（ピーマン、うどんこ病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
ピーマン	鹿児島 H23	うどんこ病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ピーマン	宮崎 H25	うどんこ病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ピーマン	鹿児島 H25	うどんこ病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ピーマン	宮崎 H26	うどんこ病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ピーマン	高知 H26	うどんこ病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ピーマン	宮崎 H27	うどんこ病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-26：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（ピーマン、灰色かび病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
ピーマン	高知 H25	灰色かび病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ピーマン	高知 H26	灰色かび病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ピーマン	宮崎 H26	灰色かび病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ピーマン	高知 H27	灰色かび病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

作物名	実施場所	対象病害		試験条件			結果	
	実施年度	病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
ピーマン	宮崎 H28	灰色 かび病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して 効果が認められた。	薬害は認められ なかった。
ピーマン	高知 H29	灰色 かび病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して 効果が認められた。	薬害は認められ なかった。

⑪ なす

薬効・薬害試験の結果、うどんこ病、灰色かび病及び菌核病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-27：アイーナ20フロアブルの薬効・薬害試験（なす、うどんこ病）結果概要

作物名	実施場所	対象病害		試験条件			結果	
	実施年度	病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
なす	山梨 H26	うどんこ病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して 十分な効果が認められた。	薬害は認められ なかった。
なす	宮崎 H26	うどんこ病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して 効果が認められたが、 その程度は低かった。	薬害は認められ なかった。
なす	茨城 H27	うどんこ病	少→中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して 効果が認められた。	薬害は認められ なかった。
なす	高知 H27	うどんこ病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して 効果が認められた。	薬害は認められ なかった。
なす	宮崎 H27	うどんこ病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して 効果が認められた。	薬害は認められ なかった。
なす	山梨 H29	うどんこ病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して 効果が認められたが、 その程度は低かった。	薬害は認められ なかった。

表 1-28：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（なす、灰色かび病）結果概要

作物名	実施場所	対象病害		試験条件			結果	
	実施年度	病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
なす	宮崎 H21	灰色かび病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なす	高知 H23	灰色かび病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なす	茨城 H23	灰色かび病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なす	茨城 H25	灰色かび病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なす	高知 H25	灰色かび病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
なす	宮崎 H26	灰色かび病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-29：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（なす、菌核病）結果概要

作物名	実施場所	対象病害		試験条件			結果	
	実施年度	病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
なす	高知 H23	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なす	宮崎 H23	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なす	宮崎 H25	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なす	高知 H25	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なす	茨城 H26	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なす	宮崎 H26	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

⑫ トマト及びミニトマト

薬効・薬害試験の結果、灰色かび病及び菌核病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

ミニトマトの灰色かび病及び菌核病に対する効果については、トマトの試験で評価した。

表 1-30：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（トマト、灰色かび病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
トマト	岐阜 H23	灰色 かび病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して 十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
トマト	高知 H23	灰色 かび病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して 十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
トマト	高知 H25	灰色 かび病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して 十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
トマト	宮崎 H25	灰色 かび病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して 十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
トマト	三重 H27	灰色 かび病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して 効果が認められた。	薬害は認められなかった。
トマト	大阪 H28	灰色 かび病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して 効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-31：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（トマト、菌核病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
トマト	高知 H23	菌核病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して 効果が認められた。	薬害は認められなかった。
トマト	熊本 H24	菌核病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して 効果が認められた。	薬害は認められなかった。
トマト	高知 H25	菌核病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して 十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
トマト	高知 H27	菌核病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して 十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
トマト	宮崎 H27	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
トマト	高知 H28	菌核病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

⑬ いちご

薬効・薬害試験の結果、うどんこ病、灰色かび病及び炭疽病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-32：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（いちご、うどんこ病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
いちご	佐賀 H25	うどんこ病	極少→中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
いちご	栃木 H25	うどんこ病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いちご	茨城 H26	うどんこ病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いちご	奈良 H26	うどんこ病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いちご	茨城 H27	うどんこ病	少～中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いちご	福岡 H27	うどんこ病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-33 : アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験 (いちご、灰色かび病) 結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
いちご	茨城 H20	灰色 かび病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いちご	岐阜 H23	灰色 かび病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いちご	奈良 H23	灰色 かび病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いちご	奈良 H25	灰色 かび病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いちご	高知 H26	灰色 かび病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いちご	宮崎 H26	灰色 かび病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-34 : アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験 (いちご、炭疽病) 結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
いちご	福岡 H22	炭疽病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
いちご	佐賀 H22	炭疽病	無→甚 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いちご	静岡 H23	炭疽病	中 (接種)	2,000 0.01	育苗期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
いちご	静岡 H25	炭疽病	中 (接種)	2,000 0.01	育苗期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
いちご	徳島 H25	炭疽病	甚 (接種)	2,000 0.01	育苗期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
いちご	福岡 H26	炭疽病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。

⑭ アスパラガス

薬効・薬害試験の結果、茎枯病及び斑点病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-35：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（アスパラガス、茎枯病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
アスパラガス	長野 H26	茎枯病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
アスパラガス	長野 H27	茎枯病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。

表 1-36：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（アスパラガス、斑点病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
アスパラガス	岩手 H27	斑点病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
アスパラガス	秋田 H27	斑点病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

⑮ 鱗茎類（根物、ただし、葉たまねぎ、葉にんにく、のびるを除く）

薬効・薬害試験の結果、灰色かび病及び灰色腐敗病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

鱗茎類（根物）の灰色かび病及び灰色腐敗病に対する効果については、鱗茎類（根物）に含まれるたまねぎの試験で評価した。

表 1-37：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（たまねぎ、灰色かび病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
たまねぎ	茨城 H23	灰色かび病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
たまねぎ	千葉 H23	灰色かび病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
たまねぎ	北海道 H25	灰色 かび病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
たまねぎ	茨城 H25	灰色 かび病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
たまねぎ	茨城 H27	灰色 かび病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
たまねぎ	北海道 H27	灰色 かび病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。

表 1-38：アイーナ20フロアブルの薬効・薬害試験（たまねぎ、灰色腐敗病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
たまねぎ	茨城 H23	灰色 腐敗病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
たまねぎ	大阪 H22	灰色 腐敗病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
たまねぎ	大阪 H24	灰色 腐敗病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
たまねぎ	北海道 H25	灰色 腐敗病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
たまねぎ	茨城 H26	灰色 腐敗病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
たまねぎ	北海道 H26	灰色 腐敗病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

⑩ レタス及びレタス類（レタスを除く）

薬効・薬害試験の結果、灰色かび病及び菌核病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

レタス類の灰色かび病及び菌核病に対する効果については、レタス類に含まれるレタスの試験で評価した。

表 1-39：アイーナ20フロアブルの薬効・薬害試験（レタス、灰色かび病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
レタス	福岡 H25	灰色 かび病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
レタス	宮崎 H25	灰色 かび病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
レタス	大阪 H26	灰色 かび病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
レタス	香川 H25	灰色 かび病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
レタス	茨城 H27	灰色 かび病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
レタス	高知 H27	灰色 かび病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-40：アイーナ20フロアブルの薬効・薬害試験（レタス、菌核病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
レタス	兵庫 H25	菌核病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
レタス	香川 H25	菌核病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
レタス	茨城 H26	菌核病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
レタス	高知 H26	菌核病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
レタス	宮崎 H26	菌核病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
レタス	香川 H27	菌核病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

⑰ かんきつ

薬効・薬害試験の結果、黒点病及び灰色かび病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-41：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（かんきつ、黒点病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
かんきつ	静岡 H26	黒点病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
かんきつ	長崎 H26	黒点病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
かんきつ	愛媛 H27	黒点病	甚	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
かんきつ	愛媛 H27	黒点病	甚	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
かんきつ	佐賀 H27	黒点病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
かんきつ	佐賀 H27	黒点病	多	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
かんきつ	佐賀 H29	黒点病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められなかった。	薬害は認められなかった。
かんきつ	愛媛 H30	黒点病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
かんきつ	神奈川 R1	黒点病	中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
かんきつ	愛媛 R1	黒点病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められなかった。	薬害は認められなかった。
かんきつ	神奈川 R2	黒点病	甚	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
かんきつ	香川 R2	黒点病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。

表 1-42：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（かんきつ、灰色かび病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
かんきつ	愛媛 H25	灰色 かび病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かんきつ	佐賀 H25	灰色 かび病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かんきつ	静岡 H26	灰色 かび病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かんきつ	和歌山 H26	灰色 かび病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かんきつ	愛媛 H27	灰色 かび病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かんきつ	大分 H27	灰色 かび病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かんきつ	静岡 R1	灰色 かび病	少	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かんきつ	愛媛 R1	灰色 かび病	少	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
かんきつ	大分 R1	灰色 かび病	少	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

⑱ なし

薬効・薬害試験の結果、黒星病及びうどんこ病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-43：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（なし、黒星病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
なし	茨城 H23	黒星病	多	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なし	長野 H23	黒星病	中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なし	茨城 H25	黒星病	多	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なし	佐賀 H25	黒星病	中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なし	千葉 H26	黒星病	中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なし	鳥取 H26	黒星病	少	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なし	千葉 H30	黒星病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なし	長野 H30	黒星病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-44：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（なし、うどんこ病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
なし	山梨 H30	うどんこ病	甚	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なし	山梨 H30	うどんこ病	甚	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なし	三重 H30	うどんこ病	甚	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なし	三重 H30	うどんこ病	甚	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。

作物名	実施場所 実施年度	対象病		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
なし	徳島 H30	うどんこ病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なし	山梨 R1	うどんこ病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なし	三重 R1	うどんこ病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なし	徳島 R1	うどんこ病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なし	山梨 R2	うどんこ病	多	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
なし	徳島 R2	うどんこ病	中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。

⑬ りんご

薬効・薬害試験の結果、黒星病、うどんこ病及び斑点落葉病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-45：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（りんご、黒星病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病虫		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
りんご	青森 H22	黒星病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
りんご	秋田 H22	黒星病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
りんご	青森 H23	黒星病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
りんご	青森 H23	黒星病	中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
りんご	秋田 H25	黒星病	少	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
りんご	長野 H25	黒星病	少	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
りんご	秋田 H26	黒星病	少	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

作物名	実施場所 実施年度	対象病虫		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
りんご	長野 H26	黒星病	少	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
りんご	青森 H27	黒星病	少	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-46：アイーナ 20 フロアブルの薬効・薬害試験（りんご、うどんこ病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
りんご	秋田 H25	うどんこ病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
りんご	秋田 H26	うどんこ病	多	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
りんご	長野 H26	うどんこ病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
りんご	青森 H27	うどんこ病	甚 (接種)	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められなかった。	薬害は認められなかった。
りんご	岩手 H27	うどんこ病	甚	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
りんご	長野 H27	うどんこ病	多	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
りんご	岩手 H29	うどんこ病	甚	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
りんご	長野 H29	うどんこ病	中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
りんご	長野 H31	うどんこ病	多	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-47：アイーナ20フロアブルの薬効・薬害試験（りんご、斑点落葉病）結果概要

作物名	実施場所	対象病虫害		試験条件			結果	
	実施年度	病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
りんご	山梨 H26	斑点落葉病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
りんご	青森 H27	斑点落葉病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められなかった。	薬害は認められなかった。
りんご	岩手 H27	斑点落葉病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
りんご	長野 H27	斑点落葉病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
りんご	山梨 H29	斑点落葉病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
りんご	秋田 H30	斑点落葉病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
りんご	福島 H30	斑点落葉病	少	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
りんご	山梨 H30	斑点落葉病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
りんご	山梨 H30	斑点落葉病	中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
りんご	秋田 R1	斑点落葉病	中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められなかった。	薬害は認められなかった。
りんご	岩手 R2	斑点落葉病	中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
りんご	福島 R2	斑点落葉病	多	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。

②⑩ おうとう

薬効・薬害試験の結果、灰星病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-48：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（おうとう、灰星病）結果概要

作物名	実施場所	対象病害		試験条件			結果	
	実施年度	病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
おうとう	青森 H25	灰星病	多～甚	2,000 0.01	満開 25、 35 日後頃 収穫前	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
おうとう	山形 H25	灰星病	中	2,000 0.01	着色期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
おうとう	山形 H26	灰星病	樹上:少 貯蔵:中 (接種)	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
おうとう	山梨 H27	灰星病	多	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

②⑪ もも類

薬効・薬害試験の結果、黒星病、灰星病及びホモプシス腐敗病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

もも類の黒星病、灰星病及びホモプシス腐敗病に対する効果については、もも類に含まれるものの試験で評価した。

表 1-49：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（もも、黒星病）結果概要

作物名	実施場所	対象病害		試験条件			結果	
	実施年度	病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
もも	宮城 H23	黒星病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
もも	福島 H25	黒星病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
もも	岡山 H26	黒星病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
もも	岡山 H26	黒星病	中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
もも	岡山 H27	黒星病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
もも	福岡 H27	黒星病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
もも	福岡 H27	黒星病	少	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
もも	岡山 H29	黒星病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
もも	岡山 H30	黒星病	中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
もも	福岡 R1	黒星病	中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-50：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（もも、灰星病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
もも	香川 H21	灰星病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
もも	福島 H23	灰星病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
もも	福島 H23	灰星病	中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
もも	山梨 H23	灰星病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
もも	福島 H25	灰星病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
もも	山梨 H26	灰星病	樹上:少 貯蔵:多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
もも	山梨 H26	灰星病	樹上:少 貯蔵:多	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
もも	福島 H29	灰星病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
もも	山梨 H29	灰星病	樹上:極少 貯蔵:多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
もも	山梨 H29	灰星病	樹上:極少 貯蔵:多	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
もも	福岡 H30	灰星病	樹上:極少 貯蔵:中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-51：アイーナ20フロアブルの薬効・薬害試験（もも、ホモプシス腐敗病）結果概要

作物名	実施場所	対象病害		試験条件			結果	
	実施年度	病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
もも	岐阜 H23	ホモプシス 腐敗病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
もも	福島 H25	ホモプシス 腐敗病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
もも	福島 H26	ホモプシス 腐敗病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められなかった。	薬害は認められなかった。
もも	福岡 H28	ホモプシス 腐敗病	樹上:極少 貯蔵:少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められなかった。	薬害は認められなかった。
もも	福岡 H28	ホモプシス 腐敗病	樹上:極少 貯蔵:少	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められなかった。	薬害は認められなかった。
もも	山梨 H30	ホモプシス 腐敗病	樹上:少 貯蔵:中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
もも	山梨 H30	ホモプシス 腐敗病	樹上:少 貯蔵:中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
もも	福岡 H30	ホモプシス 腐敗病	樹上:極少 貯蔵:少	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
もも	福岡 R1	ホモプシス 腐敗病	樹上:極少 貯蔵:少	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
もも	福岡 R1	ホモプシス 腐敗病	樹上:無 貯蔵:少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
もも	福島 R2	ホモプシス 腐敗病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

② 小粒核果類

薬効・薬害試験の結果、黒星病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

小粒核果類の黒星病に対する効果については、小粒核果類に含まれるうめの試験で評価した。

表 1-52：アイーナ20フロアブルの薬効・薬害試験（うめ、黒星病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
うめ	長野 H25	黒星病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
うめ	和歌山 H25	黒星病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
うめ	長野 H26	黒星病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
うめ	長野 H26	黒星病	中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
うめ	和歌山 H26	黒星病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
うめ	福井 H27	黒星病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
うめ	茨城 H27	黒星病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
うめ	茨城 H27	黒星病	中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
うめ	福井 H28	黒星病	甚	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

②③ うめ

薬効・薬害試験の結果、すす斑病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-53：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（うめ、すす斑病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
うめ	福井 H25	すす斑病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
うめ	和歌山 H25	すす斑病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
うめ	福井 H26	すす斑病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
うめ	福井 H27	すす斑病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
うめ	福井 H30	すす斑病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
うめ	福井 H31	すす斑病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
うめ	福井 H31	すす斑病	中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

②④ あんず

薬効・薬害試験の結果、灰星病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-54：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（あんず、灰星病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
あんず	長野 H30	灰星病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
あんず	長野 R1	灰星病	樹上:中 (接種) 貯蔵:甚	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められなかった。	薬害は認められなかった。
あんず	山梨 R2	灰星病	樹上:極少 貯蔵:中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

②⑤ すもも

薬効・薬害試験の結果、灰星病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-55 : アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（すもも、灰星病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
すもも	山梨 H30	灰星病	樹上:中 貯蔵:少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して 効果が認められた。	薬害は認められ なかった。
すもも	山梨 R1	灰星病	樹上:少 貯蔵:少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して 効果が認められた。	薬害は認められ なかった。

②⑥ ぶどう

薬効・薬害試験の結果、灰色かび病、晩腐病及び褐斑病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-56 : アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（ぶどう、灰色かび病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生 量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
ぶどう	青森 H21	灰色 かび病	甚	2,000 0.01	開花 10 日前 ~落花直後	散布	無処理区と比較し て効果が認められ た。	薬害は認められ なかった。
ぶどう	岩手 H23	灰色 かび病	多 (接種)	2,000 0.01	開花直前 ~落花直後	散布	無処理区と比較し て効果が認められ た。	薬害は認められ なかった。
ぶどう	秋田 H25	灰色 かび病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較し て効果が認められ た。	薬害は認められ なかった。
ぶどう	山梨 H25	灰色 かび病	少 (接種)	2,000 0.01	満開期	散布	無処理区と比較し て効果が認められ た。	薬害は認められ なかった。
ぶどう	青森 H26	灰色 かび病	中	2,000 0.01	新梢伸長期- 開花直前	散布	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められ なかった。
ぶどう	岩手 H26	灰色 かび病	多	2,000 0.01	開花直前- 落花期	散布	無処理区と比較し て効果が認められ た。	薬害は認められ なかった。

表 1-57 : アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（ぶどう、晩腐病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
ぶどう	長野 H22	晩腐病	多	2,000 0.01	落花後	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	果房に実用上問題ない程度の汚れ、果粉溶脱がみられた。
ぶどう	岡山 H22	晩腐病	多	2,000 0.01	開花直前 ~硬核期前	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	収穫果房で果粒表面の果粉溶脱がやや目立ち、実用上やや問題があると考えられた。
ぶどう	岡山 H23	晩腐病	少	2,000 0.01	開花期 ~硬核期前	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	収穫果房で果粒表面の果粉溶脱が認められたが、程度が低く実用上問題ない。
ぶどう	長野 H25	晩腐病	少 (接種)	2,000 0.01	落花直後~落花 20 日後	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	一部の果房に実用上問題となる程度の果粉溶脱が認められた。
ぶどう	秋田 H26	晩腐病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ぶどう	大分 H26	晩腐病	多	2,000 0.01	開花後 ~袋かけ前	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-58 : アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（ぶどう、褐斑病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
ぶどう	青森 H30	褐斑病	中 (接種)	2,000 0.01	開花直前~落花 5 週間後頃	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	果面汚染はかすかに認められたが実用上問題ない程度であった。果粉溶脱は一部でやや目立ち実用上問題になるものがあつた。
ぶどう	山梨 H30	褐斑病	中	2,000 0.01	開花直前	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
ぶどう	岡山 H30	褐斑病	甚	2,000 0.01	果粒小豆大期~袋掛け 直前	散布	無処理区と比較して効果が認められなかった。	収穫果房で無処理区を上回る果粉溶脱が認められた。

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
ぶどう	大分 H30	褐斑病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ぶどう	青森 R1	褐斑病	中 (接種)	2,000 0.01	開花直前~ 落花 5 週間 後頃	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	果面汚染はかすかに認められたが実用上問題ない程度であった。果粉溶脱は一部でやや目立ち実用上問題になるものがあつた。
ぶどう	山梨 R1	褐斑病	中	2,000 0.01	開花直前~ 着色始め	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
ぶどう	大分 R1	褐斑病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

㊦ マンゴー

薬効・薬害試験の結果、灰色かび病及び炭疽病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-59：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（マンゴー、灰色かび病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
マンゴー	鹿児島 H29	灰色 かび病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
マンゴー	鹿児島 H30	灰色 かび病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-60：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（マンゴー、炭疽病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
マンゴー	鹿児島 H29	炭疽病	甚	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
マンゴー	鹿児島 H30	炭疽病	甚	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

②⑧ かき

薬効・薬害試験の結果、うどんこ病、炭疽病、灰色かび病及び落葉病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-61 アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（かき、うどんこ病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
かき	和歌山 H26	うどんこ病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	福岡 H26	うどんこ病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	岐阜 H27	うどんこ病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	徳島 H27	うどんこ病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
かき	岐阜 H30	うどんこ病	少	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	福井 H30	うどんこ病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	滋賀 H30	うどんこ病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	福岡 H30	うどんこ病	少	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	福岡 R1	うどんこ病	少	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-62：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（かき、炭疽病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
かき	滋賀 H25	炭疽病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	福岡 H25	炭疽病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
かき	滋賀 H26	炭疽病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	香川 H26	炭疽病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	滋賀 H27	炭疽病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	香川 H27	炭疽病	甚	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	奈良 H30	炭疽病	甚 (接種)	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	香川 H30	炭疽病	中	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	愛媛 H30	炭疽病	少 (接種)	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-63：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（かき、灰色かび病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
かき	岐阜 H23	灰色 かび病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	島根 H23	灰色 かび病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	石川 H25	灰色 かび病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	島根 H25	灰色 かび病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	新潟 H26	灰色 かび病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
かき	新潟 H27	灰色 かび病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	新潟 H30	灰色 かび病	少 (接種)	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	石川 H30	灰色 かび病	少 (接種)	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	新潟 R2	灰色 かび病	少 (接種)	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	岐阜 R2	灰色 かび病	少 (接種)	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。

表 1-64：アイーナ20フロアブルの薬効・薬害試験（かき、落葉病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
かき	新潟 H30	円形 落葉病	甚	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	福井 H30	円形 落葉病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	福井 H30	円形 落葉病	多	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	奈良 H30	角斑 落葉病	多	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められなかった。	薬害は認められなかった。
かき	徳島 H30	角斑 落葉病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	新潟 R1	円形 落葉病	甚	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	福井 R1	円形 落葉病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
かき	香川 R1	角斑 落葉病	甚	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
かき	徳島 R1	角斑 落葉病	甚	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められなかった。	薬害は認められなかった。
かき	山梨 R2	角斑 落葉病	甚	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
かき	新潟 R2	円星落葉病	甚	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
かき	香川 R2	角斑落葉病	甚	4,000 0.005	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。

②⑨ 茶

薬効・薬害試験の結果、炭疽病、輪斑病及び新梢枯死症に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-65：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（茶、炭疽病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
茶	鹿児島 H22	炭疽病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
茶	鹿児島 H23	炭疽病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
茶	静岡 H24	炭疽病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
茶	静岡 H25	炭疽病	多	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
茶	鹿児島 H25	炭疽病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
茶	京都 H26	炭疽病	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-66：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（茶、輪斑病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
茶	静岡 H23	輪斑病	甚 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
茶	鹿児島 H23	輪斑病	少	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
茶	静岡 H25	輪斑病	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
茶	鹿児島 H25	輪斑病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
茶	静岡 H26	輪斑病	中 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
茶	鹿児島 H26	輪斑病	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 1-67：アイーナ 20フロアブルの薬効・薬害試験（茶、新梢枯死症）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
茶	静岡 H26	新梢 枯死症	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
茶	福岡 H26	新梢 枯死症	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められなかった。	薬害は認められなかった。
茶	静岡 H27	新梢 枯死症	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
茶	鹿児島 H27	新梢 枯死症	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められなかった。	薬害は認められなかった。
茶	静岡 H29	新梢 枯死症	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
茶	鹿児島 H29	新梢 枯死症	中	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
茶	静岡 H30	新梢 枯死症	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められなかった。	薬害は認められなかった。
茶	鹿児島 H30	新梢 枯死症	多 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
茶	鹿児島 R1	新梢 枯死症	少 (接種)	2,000 0.01	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。

(3) 薬害

① 対象作物

表 1-1 から表 1-67 に示した薬効・薬害試験において、ぶどうに果粉溶脱が認められた。その他の作物について、薬害は認められなかった。

アイーナ 20フロアブル（キノフメリン 20.0 %水和剤）を用いて実施した薬害試験の結果概要を表 1-68 に示す。試験の結果、いずれの希釈倍数及び処理時期においてもおうとうに果面汚染が認められた。

アイーナ 20フロアブル（キノフメリン 20.0 %水和剤）を用いて実施した茶の残臭試験の結果概要を表 1-69 に示す。残臭試験の結果、摘採 1 日前の使用において薬臭は認められなかった。

以上の結果から、おうとう及びぶどうに関する使用上の注意事項が必要と判断した。その他の申請作物に対する薬害については問題ないと判断した。

表 1-68：アイーナ 20フロアブルの薬害試験結果概要

作物名	試験 場所 実施 年度	試験条件				結果
		希釈 倍数 (倍)	処理 濃度 (kg ai/hL)	処理時期	使用 方法	
おうとう	山形 H30	4,000	0.005	着色始期	散布	薬害は認められなかったが、果面汚染が認められ、実用上問題がある。
おうとう	山形 H30	2,000	0.01	着色始期	散布	薬害は認められなかったが、果面汚染が認められ、実用上問題がある。
おうとう	山形 H30	1,000	0.02	着色始期	散布	薬害は認められなかったが、果面汚染が認められ、実用上問題がある。
おうとう	山形 H30	4,000	0.005	収穫期	散布	薬害は認められなかったが、果面汚染が認められ、実用上問題がある。
おうとう	山形 H30	2,000	0.01	収穫期	散布	薬害は認められなかったが、果面汚染が認められ、実用上問題がある。
おうとう	山形 H30	1,000	0.02	収穫期	散布	薬害は認められなかったが、果面汚染が認められ、実用上問題がある。
おうとう	山形 R1	4,000	0.005	果実黄化期~ 着色始期	散布	薬害は認められなかったが、果面汚染が認められ、実用上問題がある。
おうとう	山形 R1	2,000	0.01	果実黄化期~ 着色始期	散布	薬害は認められなかったが、果面汚染が認められ、実用上問題がある。
おうとう	山形 R1	1,000	0.02	果実黄化期~ 着色始期	散布	薬害は認められなかったが、果面汚染が認められ、実用上問題がある。
おうとう	山形 R1	4,000	0.005	収穫期	散布	薬害は認められなかったが、果面汚染が認められ、実用上問題がある。
おうとう	山形 R1	2,000	0.01	収穫期	散布	薬害は認められなかったが、果面汚染が認められ、実用上問題がある。
おうとう	山形 R1	1,000	0.02	収穫期	散布	薬害は認められなかったが、果面汚染が認められ、実用上問題がある。

表 1-69：アイーナ 20フロアブルの茶の残臭試験結果概要

作物名	試験場所	試験条件				結果
	実施年度	希釈倍数(倍)	使用濃度(kg ai/hL)	使用時期	使用方法	
茶	三重 H27	2,000	0.01	摘採 1, 3, 7, 14 日前	散布	いずれの時期も薬臭は認められなかった。
	熊本 H27	2,000	0.01	摘採 1, 3, 7, 14 日前	散布	いずれの時期も薬臭は認められなかった。

② 対象作物以外の作物

表 1-1 から表 1-68 に示した薬効・薬害試験及び薬害試験において、おうとう及びぶどうを除く 14 科 27 作物において薬害は認められなかった。おうとうで果面汚染、ぶどうで果粉溶脱の薬害が認められたが、これらは果実に直接散布しないかぎり発生する可能性は低いと考えられた。

以上より、適用作物の周辺で栽培される作物への薬害について問題ないと判断した。

2. アイーナ 5フロアブル（キノフメリン 5.0 %水和剤）

(1) 使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	キノフミンを 含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 穂枯れ(ごま 葉枯病菌) 稲こうじ病	8 倍	800 mL/10 a	収穫 7 日 前まで	3 回 以内	無人航空機に よる散布	3 回 以内
		1000 倍	60~150 L/10 a			散布	
		300 倍	25 L/10 a				

(2) 薬効

① 稲

薬効・薬害試験の結果、いもち病、稲こうじ病及び穂枯れ（ごま葉枯病菌）に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 2-1：アイーナ 5フロアブルの薬効・薬害試験（稲、いもち病）結果概要

作物名	実施場所	対象病害		試験条件			結果	
	実施年度	病害名	発生量	希釈倍数(倍) 使用濃度(kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
稲	岩手 H29	いもち病	葉いもち：多(接種) 穂いもち：多	1,000 0.02	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	茨城 H29	いもち病	葉いもち：少(接種) 穂いもち：極少(接種)	1,000 0.02	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
稲	茨城 H29	いもち病	葉いもち：少(接種) 穂いもち：少(接種)	300 0.067	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	茨城 H29	いもち病	穂いもち：少	1,000 0.02	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	長野 H29	いもち病	葉いもち：多(接種) 穂いもち：少	1,000 0.02	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	高知 H29	いもち病	葉いもち：極少(接種) 穂いもち：少	1,000 0.02	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	高知 H29	いもち病	葉いもち：極少(接種) 穂いもち：少	300 0.067	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	北海道 H30	いもち病	葉いもち：少(接種) 穂いもち：多(接種)	1,000 0.02	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	高知 H30	いもち病	葉いもち：少(接種) 穂いもち：極少	1,000 0.02	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	茨城 R1	いもち病	葉いもち：極少(接種) 穂いもち：少	1,000 0.02	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 2-2：アイーナ5フロアブルの薬効・薬害試験（稲、稲こうじ病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
稲	秋田 H29	稲こうじ病	少	1,000 0.02	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	鹿児島 H29	稲こうじ病	中	1,000 0.02	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	新潟 H30	稲こうじ病	少	1,000 0.02	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	宮崎 H30	稲こうじ病	甚	300 0.067	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められなかった。	薬害は認められなかった。
稲	鹿児島 H30	稲こうじ病	少	1,000 0.02	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	宮城 R1	稲こうじ病	中	1,000 0.02	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
稲	秋田 R1	稲こうじ病	少	1,000 0.02	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	鹿児島 R1	稲こうじ病	中	1,000 0.02	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	宮崎 R1	稲こうじ病	甚	1,000 0.02	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	宮崎 R1	稲こうじ病	甚	300 0.067	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。

表 2-3：アイーナ 5 フロアブルの薬効・薬害試験（稲、穂枯れ（ごま葉枯病菌））結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件			結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用時期	使用方法	薬効	薬害
稲	福島 H29	穂枯れ (ごま葉枯病菌)	多	1,000 0.02	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	福島 H29	穂枯れ (ごま葉枯病菌)	多	300 0.067	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
稲	福島 H30	穂枯れ (ごま葉枯病菌)	多	1,000 0.02	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	福島 H30	穂枯れ (ごま葉枯病菌)	多	300 0.067	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
稲	山口 H30	穂枯れ (ごま葉枯病菌)	少 (接種)	1,000 0.02	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	宮崎 H30	穂枯れ (ごま葉枯病菌)	中 (接種)	1,000 0.02	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。
稲	新潟 R1	穂枯れ (ごま葉枯病菌)	中	1,000 0.02	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
稲	福島 R1	穂枯れ (ごま葉枯病菌)	多	1,000 0.02	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められたが、その程度は低かった。	薬害は認められなかった。

(3) 薬害

① 対象作物

表 2-1 から表 2-3 に示した薬効・薬害試験において、薬害は認められなかった。

アイーナ5フロアブル（キノフメリン 5.0 %水和剤）を用いて実施した稲の薬害試験結果概要を表 2-4 に示す。試験の結果、薬害は認められなかった。

以上の結果から、申請作物に対する薬害について問題ないと判断した。

表 2-4：アイーナ5フロアブルを用いた薬害試験結果概要

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果
		希釈 倍数 (倍)	処理 濃度 (kg ai/hL)	処理時期	使用方法	
稲	茨城 R3	8	2.5	生育期	無人航空機による 散布	薬害は認められなかった。
稲	千葉 R3	8	2.5	生育期	散布	薬害は認められなかった。
稲	滋賀 R3	8	2.5	生育期	散布	薬害は認められなかった。

② 対象作物以外の作物

本剤と同じ有効成分を含有するアイーナ20フロアブル（キノフメリン 20.0 %水和剤）を用いた薬効薬害試験が提出されている。

試験の結果、おうとう及びぶどうを除く 14 科 27 作物において薬害は認められなかった。おうとうで果面汚染、ぶどうで果粉溶脱の薬害が認められたが、これらは果実に直接散布しないかぎり発生する可能性は低いと考えられた。

以上より、適用作物の周辺で栽培される作物への薬害について問題ないと判断した。

3. リメリナフロアブル（キノフメリン 20.0 %水和剤）

(1) 使用方法

作物名	適用病虫害名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	キノフメリンを 含む農薬の 総使用回数
西洋芝 (ベントグラス)	炭疽病 ダラースポット病	2000 倍	0.5L/m ²	発病前～ 発病初期	8 回 以内	散布	8 回以内

(2) 薬効

① 西洋芝（ベントグラス）

薬効・薬害試験の結果、炭疽病及びダラースポット病に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 3-1：リメリナフロアブルの薬効・薬害試験（西洋芝（ベントグラス）、炭疽病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件				結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用 液量 (L/m ²)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
西洋芝 (ベント グラス)	新潟 H26	炭疽病	中	2,000 0.01	0.5	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
西洋芝 (ベント グラス)	山梨 H30	炭疽病	少	2,000 0.01	0.5	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
西洋芝 (ベント グラス)	山口 H30	炭疽病	中	2,000 0.01	0.5	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
西洋芝 (ベント グラス)	福岡 H30	炭疽病	中	2,000 0.01	0.5	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
西洋芝 (ベント グラス)	熊本 H30	炭疽病	少	2,000 0.01	0.5	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
西洋芝 (ベント グラス)	山口 R1	炭疽病	中	2,000 0.01	0.5	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
西洋芝 (ベント グラス)	福岡 R1	炭疽病	中	2,000 0.01	0.5	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。

表 3-2：リメリナフロアブルの薬効・薬害試験（西洋芝（ベントグラス）、ダラースポット病）結果概要

作物名	実施場所 実施年度	対象病害		試験条件				結果	
		病害名	発生量	希釈倍数 (倍) 使用濃度 (kg ai/hL)	使用 液量 (L/m ²)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
西洋芝 (ベント グラス)	静岡 H26	ダラースポット病	中	2,000 0.01	0.5	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
西洋芝 (ベント グラス)	兵庫 H26	ダラースポット病	中	2,000 0.01	0.5	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
西洋芝 (ベント グラス)	山梨 H30	ダラースポット病	中	2,000 0.01	0.5	生育期	散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
西洋芝 (ベント グラス)	兵庫 H30	ダラースポット病	少	2,000 0.01	0.5	生育期	散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。

西洋芝 (ベント グラス)	鳥取 H30	ダラース ポット病	少	2,000 0.01	0.5	生育期	散布	無処理区と比較 して効果が認め られた。	薬害は認めら れなかった。
西洋芝 (ベント グラス)	福岡 H30	ダラース ポット病	少	2,000 0.01	0.5	生育期	散布	無処理区と比較 して効果が認め られた。	薬害は認めら れなかった。

(3) 薬害

① 対象作物

表 3-1 及び表 3-2 に示した薬効・薬害試験において、薬害は認められなかった。このことから申請作物に対する薬害について問題ないと判断した。

② 対象作物以外の作物

本剤と同じ有効成分を含有するアイーナ 20フロアブル(キノフメリン 20.0 %水和剤)を用いた薬効薬害試験が提出されている。

試験の結果、おうとう及びぶどうを除く 14 科 27 作物において薬害は認められなかった。おうとうで果面汚染、ぶどうで果粉溶脱の薬害が認められたが、これらは果実に直接散布しないかぎり発生する可能性は低いと考えられた。

以上より、適用作物の周辺で栽培される作物への薬害について問題ないと判断した。